



414
A1691

方今

第一

王政維新之際舊幕ヨリ引續外國へ連
債大凡六百萬弗^{ドル}一弗ハ凡我之高ニ及
ブ故ニ今急速此債ヲ償フノ催アリ即
今内外莫大之費用夥ク是ヲ償フ之道

大正十一年四月
大隈侯爵贈

果シテ如何

- 一 長州下ノ關一條ニ付英佛米蘭へ
- 三百^万弗償金内残り高百五十萬弗
- 一 横濱ヲリエンタルバンク英商兩替屋
- ヨリ五拾萬弗
- 一 英商ヨルトヨリ貨幣局借入高太凡百萬弗餘
- 一 長^崎製鍊所横濱運上所燈明臺造幣局鑛山局軍艦壹艘

右大凡之拂高ニシテ詳細ハ記シカ
タシ

第二

即今世上一般惡金銀流通シ貿易之間
此惡金銀外國人之手ニ落テ其高大凡
正金三千萬兩ニ及ブ今其者等ヨリ其
公使へ訴出此惡金銀ヲ分析シテ外國

官へ携来り良金ト引換エルカ又ハ其
損毛ヲ償フカト云へリ此償大凡六百
萬金ナリコレヲ償フ之道果シテ如何
新定約書第三則ニ云一分銀目方二
分三分ハ日本之銀貨ニ其重サト口
イ貫目百三十四ゲレシニ下ラズ
其質ハ純銀ノ九分ニ下ラス其交セ
物ハ一分ヨリ多カラサルヘシ

右之通約書ニ掲ケ有之是貨幣日本
ノ物ニシテ日本ニテ自儘シカタキ
物ニテ則内外ノ中間ニアル高買ノ
媒始ヲナスモノナリ譬へハ日本人
ニテモ外國人ノ小使トナル間ハ日
本人ノ自儘ニシカタキト同様ナ
リ故ニ舊幕府之節ハ其約書ヲ守リ
混和物ハ十分ノ一部分ニ過キスト
雖近來追々惡幣吹立且又大阪ニテ

新鑄ノ一分銀其質甚惡シ且二分
全モ同様濫惡ニ歸ス故ニ本文ノ如
ク外國人ノ損耗ニ及ヒシ也是ハ貨
幣局ニテ貨幣ハ政府ニテ何様ニ製
造スルトモ紙幣同様通用スルモノ
ト昔風ノ所存ニテ思ヒ誤シヨリ發
源シタル也

第三

若シ各國公使ヨリ右之惡全銀ハ政府
ヨリ出セシハ勿論ナレドモ其内又他
所ニテ偽造ノ物モアルヤト問訊スル
節其確答果シテ如何

是政府及ヒ政府外ニテモ竊ニ濫惡
ノ二分全ヲ鑄造セシ風聞アレハナ
リ本文外國人ノ手ノミニ三千萬兩
アリシトノ説ヲ以テ見レハ新舊政

府ニテ造り出セシ惡症ノ貨幣ノ之
ナラス他所ニテ竊ニ鑄造ノ分亦不
少ト推シ知ルベシ

第四

日本政府ニ於テ惡金銀ヲ製造シ条約
ニ背キ内外人民ヲ惑亂シ汗名ヲ萬國
ニ得タリ此汗名ヲ一洗説明スルノ道

果シテ如何

右之條々ハ實ニ國家之大事一官一局
之權能ク挽回改明スベキニアラス宜
速ニ御評議有之度候也

三月

外國官

辨事
御中



